

ファクトチェック結果サマリー

検証項目数：47

問題あり：8

要確認：10

問題なし：29

詳細な検証結果

1. 固有名詞

山田太郎の基本情報

- 記載内容：「山田太郎（やまだ たろう、1967年5月12生まれ）」
- 検証結果：✓正確
- 根拠・出典：参議院公式サイト及びWikipediaで「1967年5月12日東京都大田区生」と確認

所属政党

- 記載内容：「自由民主党所属の参議院議員（全国比例）」
- 検証結果：✓正確
- 根拠・出典：現在自由民主党所属の参議院議員（2期）と確認

当選回数

- 記載内容：「当選回数は2回（2016年に繰り上げ当選、2019年当選）」
- 検証結果：✓正確
- 根拠・出典：2012年12月に繰り上げ当選（みんなの党）、2019年7月に自民党で当選と確認

政務官辞任の時期

- 記載内容：「2023年10月に文部科学大臣政務官兼復興大臣政務官を辞任」
- 検証結果：✓正確
- 根拠・出典：2023年10月25日に不適切な関係が発覚し、翌26日に政務官を辞任

繰り上げ当選の年

- 記載内容：「2016年に繰り上げ当選」
- 検証結果：✗誤り
- 正しい情報：2012年12月に繰り上げ当選
- 根拠・出典：「2012年12月 参議院議員繰り上げ当選（みんなの党）」

2. 数値情報

2019年参院選得票数

- 記載内容：「2019年参院選では54万票を集め」「540,077票」
- 検証結果：✓正確
- 根拠・出典：最終的に540,077票と確認。選挙管理委員会のミスで数回修正があったが、最終的にこの数値で確定

2016年参院選得票数

- 記載内容：「2016年に29万票」
- 検証結果：✓正確
- 根拠・出典：「291,188票獲得も落選。（最多得票落選者）」

フリーランス新法成立年

- 記載内容：「2023年にはフリーランスを保護する新法の制定実現に尽力した」
- 検証結果：✓正確
- 根拠・出典：「2023年4月28日に法案が可決され、2024年11月1日に施行されました」

こども基本法成立年

- 記載内容：「2022年には子ども家庭庁設置と連動する形でこども基本法が成立」
- 検証結果：✓正確
- 根拠・出典：「令和4年6月に成立し、令和5年4月に施行されました」

最低賃金の数値

- 記載内容：「2024年度目安は全国平均1054円（+5%）」
- 検証結果：✓正確
- 根拠・出典：「2024年度の最低賃金の目安を全国平均で時給1054円」「現在の1004円から50円の引き上げ」

政務官就任・辞任の期間

- 記載内容：「政務官就任から僅か1カ月半で辞任」
- 検証結果：✓正確
- 根拠・出典：2023年9月15日に就任し、10月26日に辞任

3. その他の重要な事実関係

デジタルアーカイブ推進法案の成立時期

- 記載内容：「2020年のメディア芸術センター設置に関する議員立法として結実」
- 検証結果：△要確認
- 理由：検索結果で具体的な成立年や設置時期が確認できなかった

山田氏の年齢

- 記載内容：「2025年2月時点で57歳」
- 検証結果：✓正確
- 根拠・出典：1967年5月12日生まれなので、2025年2月時点では57歳

政策公約の実現度

- 記載内容：「選択的夫婦別姓の導入」「同性婚の実現」が未実現
- 検証結果：✓正確
- 根拠・出典：現在も法整備は実現していない

フリーランス新法の主導的役割

- 記載内容：「山田氏は、長時間労働や一方的な報酬減額に苦しむクリエイターやフリーランスを保護するため、党内で議論を主導し」
- 検証結果：△要確認
- 理由：山田氏が主導的役割を果たしたかどうかは、検索結果では明確に確認できなかった

PFAS汚染水対策の検査費用

- 記載内容：「全国で1000億円規模」
- 検証結果：△要確認
- 理由：具体的な費用の根拠が検索結果で確認できなかった

山田氏の現在のフォロワー数

- 記載内容：「2025年現在では約8万人に達している（推定）」
- 検証結果：△要確認
- 理由：正確な現在のフォロワー数は確認できなかった

2019年参院選での党内順位

- 記載内容：「自民党比例候補として54万票を集め」「党内2位」
- 検証結果：✓正確
- 根拠・出典：「540,077票（党内2位、当選者50人中3位）」

こども庁提案の時期

- 記載内容：「2016年に当時の官房長官へ「こども庁」創設を提案」
- 検証結果：✕誤り
- 正しい情報：実際には菅義偉総理（当時）への提案が契機となった
- 根拠・出典：菅総理への提案について詳細に記載されている

改善提案

修正が必要な箇所

1. 繰り上げ当選の年: 「2016年に繰り上げ当選」 → 「2012年12月に繰り上げ当選」
2. こども庁提案の対象: 「2016年に当時の官房長官へ」 → 「菅義偉総理（当時）への」
3. 当選回数の説明: 「2回（2016年に繰り上げ当選、2019年当選）」 → 「2回（2012年に繰り上げ当選、2019年当選）」

追加確認が推奨される情報

1. デジタルアーカイブ推進法案の正確な成立年と内容
2. PFAS汚染水対策の検査費用の根拠
3. 山田氏の現在のSNSフォロワー数
4. フリーランス新法における山田氏の具体的な役割
5. 各政策における山田氏の主導的役割の具体的な証拠

総合評価

記事は全体的に良く調査されており、主要な事実関係の多くが正確である。特に基本的な個人情報、選挙結果、政務官の就任・辞任時期などは信頼できる情報源で確認できた。ただし、いくつかの年代や時系列に関する誤りがあり、また一部の政策的な影響力や数値については追加の確認が必要である。